関東大震災

＊内藤家文書（下松市）584「関東大震災記」

解　説

1923（大正12）年9月1日に起こった関東大震災により，東京・横浜を中心とする地域は壊滅状態になりました。

この震災は様々なメディアにより記録され，全国に伝えられました。左の写真は，震災1カ月後に朝日新聞社から出版された「関東大震災記」で，被害直後の様子が伝えられています。

下の写真は震災1年後の大阪毎日新聞の付録で，鳥瞰図画家吉田初三郎による被災地の鳥瞰図の裏に，震災後1年の時点での復興の様子が記されています。これにより，震災前後における世帯数・人口数の増減，交通通信網・水道・ガス・電灯の復旧，学校の再開の様子などがわかります。

＊武永家文書922「関東震災全地域鳥瞰図絵」（写真上）
＊この他，絵葉書などの形でも被害の状況が伝えられました（梶山家文書1810-1～6「関東大震災・日本未曾有災害実況はがき」，月輪寺文書212-52～54「関東大震災絵はがき」）。
＊行政文書　戦前A総務1559「震災救護事務」は震災援護事務の記録で，山口県から被災地への援助の様子を窺うことができます。

山口県文書館所蔵アーカイブズガイド学校教育編
目次に戻る